

## 第 18 回 品質保証分科会 議事録

1. 日 時 平成 19 年 3 月 19 日 ( 月 ) 13:30 ~ 16:00
2. 場 所 日本電気協会 C, D 会議室
3. 出席者 ( 敬称略, 五十音順 )  
出席委員 : 飯塚分科会長 ( 東京大学 ), 渡邊 ( 邦 ) 幹事 ( 東京電力 ), 植松 ( 三井造船 ), 尾川 ( 日本原燃 ), 佐藤 ( 東京海洋大学 ), 島田 ( 日本原子力発電 ), 島津 ( 北海道電力 ), 首藤 ( 電源開発 ), 白石 ( 三菱電機 ), 関 ( 関西電力 ), 高橋 ( 富士電機システムズ ), 幅野 ( 東京電力 ), 本田 ( 中国電力 ), 前田 ( 発電設備技術検査協会 ), 矢作 ( 東芝 ), 渡辺 ( 雅明 ) ( 原子力安全基盤機構 ), 渡辺 ( 雅彦 ) ( 東北電力 )  
代理委員 : 大西 ( 四国電力 山本代理 ), 尾本 ( 九州電力 岡野代理 ), 鹿志村 ( 日本原子力研究開発機構 渡邊 ( 勝 ) 代理 ), 小宮山 ( グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 池田代理 ), 鈴木 ( 中部電力 倉田代理 ), 奈良 ( 東京電力 幅野代理 [ 幅野委員途中退席後 ] ), 宗像 ( 原子力安全・保安院 長谷部代理 ), 安本 ( 日本製鋼所 平代理 ), 吉崎 ( 石川島播磨重工業 井上代理 )  
欠席委員 : 小嶋 ( 日立製作所 ), 妹尾 ( 日本原子力技術協会 ), 古谷 ( 北陸電力 ), 宮越 ( 三菱重工業 ), 結城 ( 原子力安全・保安院 )  
オブザーバ : 荒木 ( 原子燃料工業 )  
事務局 : 池田, 長谷川, 国則 ( 日本電気協会 )
4. 配付資料  
資料 No. 18-1 第 17 回品質保証分科会 議事録 ( 案 )  
資料 No. 18-2-1 原子力規格委員会 品質保証分科会委員名簿  
資料 No. 18-2-2 原子力規格委員会 品質保証分科会 品質保証検討会委員名簿  
資料 No. 18-3-1 平成 19 年度 品質保証分科会活動について  
資料 No. 18-3-2 原子力規格委員会 品質保証分科会 活動計画 ( 平成 19 年度 )  
資料 No. 18-4-1 JEAC4111-2003 普及に関わる講習会実施報告  
資料 No. 18-4-2 平成 18 年 12 月 JEAC4111 コース 講習会 ( 東京 ) アンケート集計  
資料 No. 18-4-3 平成 18 年 12 月 JEAC4111 コース 講習会 ( 東京 ) 当日の質疑応答  
資料 No. 18-4-4 平成 19 年 1 月 JEAC4111 コース 講習会 ( 大阪 ) アンケート集計  
資料 No. 18-4-5 平成 19 年 1 月 JEAC4111 コース 講習会 ( 大阪 ) 当日の質疑応答  
資料 No. 18-4-6 平成 18 年 12 月 13, 14 日・平成 19 年 1 月 30, 31 日 JEAC4111 講習会質問対応  
資料 No. 18-4-7 平成 19 年 2 月 JEAC4111 コース 講習会 アンケート  
資料 No. 18-4-8 平成 19 年 2 月 JEAC4111 コース 講習会 当日の質疑応答  
資料 No. 18-4-9 「JEAC4111-2003 原子力発電所における安全のための品質保証規程」平成 18 年度コース 講習会 ( 平成 19 年 2 月 22 ~ 23 日 ) 質問対応

資料 No.18-4-10	日本電気協会 JEAC4111 コース 講習会 経験講師一覧
資料 No.18-4-11	「JEAC4111 普及促進」検討チーム会合 出欠表
資料 No.18-5-1	JEAC4111 調達管理検討 WG 活動結果報告
資料 No.18-5-2	JEAG4121-2005「7.4 調達」の見直し案(Rev3)・・・原子力規格委員会資料 No.23-12-4 に対する原子力規格委員会委員コメントに対する回答(案)
資料 No.18-5-3	第2部「JEAC4111 の基本的性質」2 項「JEAC4111 要求事項理解のために」に追加する事項
資料 No.18-5-4	JEAG4101-1993/2000 と標準品質保証仕様書との比較
資料 No.18-5-5	JEAG4121-200X「7.4 調達」の附属書品質マネジメントシステムに関する標準品質保証仕様書(案)
資料 No.18-5-6	JEAG4121-2005 7.4 調達 7.4.1 調達プロセス 改訂検討
資料 No.18-5-7	JEAG4121-2005 7.4 調達 7.4.2 調達要求事項 改訂検討
資料 No.18-5-8	JEAG4121-2005 7.4 調達 7.4.3 調達製品の検証 改訂検討
資料 No.18-6-1	IAEA 基準 GS-R-3 反映に伴う、JEAC4111/JEAG4121 記載案
資料 No.18-6-2	安全文化に係る記載案についての検討会委員コメント対応
資料 No.18-7-1	根本原因分析に関するガイド(中間報告)
資料 No.18-7-2	JEAG4121-200X の附属書「根本原因分析のガイド」(D16)
参考資料 No.18-1	根本原因分析に対する国の要求事項について(案)
参考資料 No.18-2	事業者の根本原因分析実施内容を規制当局が評価するガイドライン(案)

## 5. 議事

### (1) 議事次第と配付資料の確認

当日の議事次第と配付資料が確認された。

### (2) 代理出席者の承認，会議定足数の確認

飯塚分科会長により，委員代理者の出席が承認され，分科会委員総数 30 名中出席委員 25 名で，委員総数の 3 分の 2 以上という会議定足数を満たし，会議が成立することが確認された。

### (3) 第 17 回品質保証分科会議事録について

事務局より，資料 No.18-1 に基づき，第 17 回品質保証分科会議事録(案)の紹介があり，本内容で正式議事録とすることが，全員の賛成で承認された。

### (4) 品質保証分科会，品質保証検討会新委員候補・再任委員候補・退任委員について

事務局より，資料 No.18-2-1 に基づき，渡邊幹事から推薦の燃料加工メーカー 2 社の新たな委員候補を含む，品質保証分科会新委員候補・退任委員の紹介があり，本内容で次回の原子力規格委員会に提案することが，全員の賛成で承認された。また，事務局より，資料 No.18-2-2 に基づき，品質保証検討会新委員候補・再任委員候補・退任委員の紹介があり，全員の賛成で承認された。

(5) 次期分科会長の選任

3月末に任期満了となるため、次期分科会長の選任を実施した。渡邊幹事より、次期分科会長候補者として飯塚現分科会長の推薦があり、他に推薦が無いことを確認した後、単記無記名投票を行った結果、出席委員総数25名に対し、飯塚現分科会長への投票数24票で飯塚現分科会長が次期分科会長に再任された。その後、飯塚分科会長より、次期分科会長就任にあたって概要を以下に示す挨拶があった。

- ・ 1年ほど前に言明したとおり、今期までと考えていたが、現在、根本原因分析や調達管理などの活動が進行中という状況もかんがみて、2年間限りとして次期分科会長をお引き受けする。いつまでも同じ人がリーダーを継続することは良いことではないし、その分野での見識の高い人がリーダーシップを取って行かなければ、その分野は発展しない。この分科会では、様々な意見が交換されるが、必ずしもすべての人が、主体的、積極的に建設的な意見を出してはいないと思う。分科会に参加する限りは、原子力安全の分野において、品質保証の側面からどうあるべきかを考えて、活動して欲しい。

(6) 次期幹事の指名

飯塚分科会長より、次期幹事に渡邊（邦）現幹事が指名された。

(7) 品質保証分科会活動について

(7-1) 普及活動について

島津委員より、資料 No.18-4-1～18-4-11 に基づき、普及活動に係わる検討状況が報告された。

資料 No.18-4-6 のコース 講習会の質問対応回答案については、以下の修正を施すことで回答とすること、及び、資料 No.18-4-9 のコース 講習会の質問対応回答案については、現案で回答とすることが、全員の賛成で承認された。

- ・ No.2の「・・・維持されていると思われる。」を「・・・維持されていると思われます。」に修正する。
- ・ No.5の「講習会でもお話ししましたが、まず、」を削除し、「できたかが、QMSの有効性ということです。」を「できたかということです。」に修正する。

(7-2) 調達管理について

首藤委員より、資料 No.18-5-1～18-5-8 に基づき、調達管理に係わる検討状況が報告された。

資料 No.18-5-3, 18-5-5～18-5-8 に示す JEAG4121 改定案については、期間2週間の分科会書面投票による決議を行うことが、全員の賛成で承認された。

資料 No.18-5-2 の原子力規格委員会委員コメントに対する回答案については、2番目のコメント回答に以下の主旨の修正を施し回答とすることが、全員の賛成で承認さ

れた。なお、具体的な修正案ができ次第、分科会委員にメールで内容を確認いただいた上で、コメントをされた委員に回答を連絡することとした。

- ・ 公正、公平といった明確な基準は記載していないが、原子力安全を達成するという目的の中において、結果として公正、公平というものがもたらされることになる。

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。[(Q) 質問, (A) 回答, (C) コメント]

(Q) 「安全」についての要求は、具体的な仕様規定ではなく、性能規定になると思われるが、一定の安全性を達成するには色々な方法が考えられ、公正性、公平性の点で、海外との関係で関税障壁のような問題が出ることはないか？

(A) 技術的に正しいものや、安全なものを追求して行くことが必要である。それらを追求して行けば、結果として公正性、公平性が保たれるものと考えられる。

#### (7-3) IAEA QA コードの評価について

鈴木代理委員より、資料 No.18-6-1, 18-6-2 に基づき、IAEA 基準の反映に係わる検討状況が報告された。

資料 No.18-6-1 に示す JEAC4111/JEAG4121 記載案は、現時点での改定案としてまとめられたが、IAEA 側で作成中の、1996 年版と 2006 年版の比較表の発行を待ち、JEAC4111 の解説に反映し、また、審議中の「原子力施設のためのマネジメントシステム (DS349)」の発行を待ち、JEAC4111, JEAG4121 への反映事項を検討するため、継続検討して来年度の全面改定に含めることが、全員の賛成で承認された。

#### (7-4) 根本原因分析について

渡邊(邦)幹事より、資料 No.18-7-1~18-7-2 に基づき、根本原因分析のガイド作成に係わる検討状況が報告された。

資料 No.18-7-2 に示す根本原因分析のガイドは、内容の成熟度を高めるべく現在検討中の課題などを継続検討し、来年度上期中の原子力規格委員会への上程を目指すことが、全員の賛成で承認された。

根本原因分析に係わる原子力規格委員会委員コメントに対する回答案については、具体的な回答案ができ次第、分科会委員にメールで内容を確認いただいた上で、コメントをされた委員に回答を連絡することとした。

#### (7-5) 平成 19 年度品質保証分科会活動について

渡邊幹事より、資料 No.18-3-1~18-3-2 に基づき、今年度の活動報告と来年度の活動計画の案が紹介され、No.18-3-2 については、以下を反映した資料を原子力規格委員会へ上程することが、全員の賛成で承認された。なお、規格改定案の今後の出版などの手続きについては、原子力規格委員会審議や公衆審査などの進捗を考慮しな

がら，分科会や検討会の要望をタイムリーに確認し，あらためて方針を決めることとした。

- ・（平成 19 年度活動計画）中の「根本原因分析に関する記載検討」と「IAEA の改訂を受けて反映すべき点の検討」は，JEAC4111，JEAG4121 両規格を対象とする記載に修正する。

本件に関する主な議論の内容は以下のとおり。[(Q) 質問，(A) 回答，(C) コメント]

(Q) 調達管理に係わる JEAG4121 のみ先行して改定が進む場合に，その後の出版などの手続きはどのような方法が考えられるか。

(A) 検討会では，調達管理の部分だけでも原子力規格委員会まで承認を取り，出版することを念頭に手続きを進める方針が承認された。出版の方法としては，JEAG4121 全体の改定版として発行する方法と，改定部分の追補版として発行する方法が考えられるが，いつどのような方法で出版するかについては，ユーザーのニーズに合わせる事が基本になる。なお，追補版の場合は，ユーザーの利便性を考慮して，第 3 部 7.4 の改定部分の扱いに注意する必要があると思われる。

(Q) 過去に 1 年間に 2 回，同じ規格が改定されたことはあるか？

(A) 同じ年に 2 回という例は無いと思う。なお，順調に進めば，調達管理に係わる JEAG4121 は 2007 年版，全体の改定版は 2008 年版になる予定である。

(Q) 改定版の出版という形を取らずに，知見の共有のために，分科会の報告書のような形で有料の冊子を発行することは可能か？

(A) 可能と思われる。

(C) 省令改正の具体的なスケジュールはまだ確定していないが，平成 20 年度からの運用を考えると，従来の例によれば，7 月頃までに省令を改正の上公布し，10 月に施行，半年程度の経過措置を置き，来年 4 月から運用開始とするようなスケジュールになることが予想される。その場合，根本原因分析のガイドは，今年の秋ごろまでに改定案が完成していれば，それを基に対応していくことも可能と考える。

(C) 調達管理については，色々な問題が指摘されていることもあり，コンセンサスが得られた時点で，できるだけ早く利用できる形で発行することが望ましい。

#### (8) その他

次回分科会は，仮に 8 月 24 日午前中に開催することとして，原子力規格委員会の開催日程などにより，必要があれば再調整をすることとした。

以 上